



青 雲

第12号 令和6年3月21日発行

地域に誇りを もって生きる

先日、71名の卒業生を送り出しました。羽城中同窓生の数も17274名となり、長い歴史と伝統をしみじみと感じる日となりました。

3月21日には、修了式を行い1年生62名、2年生60名がそれぞれの学年の学びを修め、新たな学年に進級することになります。

この1年を振り返ると、長く続いたコロナ禍も五類に移行し、社会も学校生活もようやく日常を取り戻した感があります。その中で生徒たちは学業や部活動、生徒会活動にそれぞれの個性を存分に発揮し、のびのびと成長を遂げてくれました。

また、水害や地震、クマの出没など、自然の脅威に驚かされ、危機管理の在り方を考えさせられる年でもありました。

その中で、保護者の皆様のご理解ご協力があったのはもちろん、地域や関係機関の皆様からも温かなご支援をいただいたおかげで、今年度も無事終わりを迎えようとしています。

本当にありがとうございました。

世は国際化や情報化の急激な波に混沌としています。その変化に柔軟に対応する資質や能力を学校や家庭、地域と連携して育てていかなければなりません。

国際的に活躍している方々から話を伺うと、国際社会では、いかに自国の文化や歴史を理解しているかで、その人の人間性が評価されるといいます。

自分の生まれ育った土地のよさを十分に理解し、誇りをもって生きることが大切なのだと思えます。

これからも郷土秋田、そして潟上に誇りを持ち、地域に貢献する人材を育てていきます。

校長 目黒 健



修了式の様子



令和5年度 第74期生卒業証書授与式



71名全員が卒業証書を手に入に！



3月7日(木)、厳かな雰囲気の中、第74期生71名の卒業証書授与式が行われました。卒業生と保護者2名まで参加の卒業式には、ご来賓や在校生も参加して思い出に残るものとなりました。

当日は少し肌寒い天候でしたが、心地よい緊張感に包まれる中、校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡しました。また、「別れの歌」として『3月9日』を見事なハーモニーで歌い上げ、たいへん感動的な卒業式となりました。その後、各教室で行われた最後の学活では、卒業生たちは、これまで共に学び、成長した友だちや学級担任との別れを惜しみながら、思い出を振り返っていました。放送室からの音楽が流れると、在校生たちがつくった花道へ向かいました。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。それぞれの思いを胸に、自分の選んだ「新しいステージ」で輝くことを心から願っています。



卒業生入場



学級担任による氏名点呼(1組)



卒業証書授与



別れの歌「旅立ちの日に」



別れの歌「3月9日」



卒業生退場



最後の学活(1組)



最後の学活(2組)



後輩たちに見送られ

ご来校いただいた保護者の皆様、ご来賓の皆様、本当にありがとうございました。皆様の温かい拍手や見守りのおかげで、とてもよい卒業証書授与式となりました。今後も地域から羽城中学校を支えていただけると幸いです。

答辞 卒業生 ○○ ○○

冬の寒さも和らぎ、桜のつぼみも膨らみ始める季節となりました。三年間過ごしてきた羽城中学校での生活も今日で終わりを迎えます。

三年前、期待と不安を胸に抱き、この体育館に足を踏み入れた入学式。周りには、新しい仲間が沢山おり、最初は仲良くなれるかとても不安でした。中学生になると、部活動と勉強の両立に苦しみました。部活動で疲れた後の勉強は大変でした。

一年生の始めに予定していた宿泊学習は、新型コロナウイルス感染拡大のため、泊まることはできませんでしたが、カヌーなどで仲間との楽しい時間を過ごすことができました。

二年生になり、後輩ができました。後輩達のお手本となれるよう、生活態度にも気を付けるようになりました。後期からは生徒会活動や部活動で、私たちが全校生徒を引っ張っていくリーダーになりました。慣れないことばかりで、失敗することもありましたが、仲間と協力することで高い壁を乗り越えることができました。

三年生になり、羽城中学校での生活も残り一年となりました。修学旅行では、二泊三日で三年ぶりに関東方面へ行くことができました。電車での移動は、秋田とは比べものにならないほどの人の多さに驚きました。無事に目的地へ着くことができた時は、大きな達成感を味わうことができました。羽城祭では、ドリーム・ステージや吹奏楽部の演奏が大いに盛り上がりしました。どのステージも個性が発揮され、輝いていました。合唱コンクールでは、最高の合唱にするために、日々練習に励みました。本番では、全員が、全力で歌い、思い出に残る合唱にすることができました。

中学校生活では、多くのことを学びました。仲間と一緒に何かを成し遂げた時の達成感や進路実現の厳しさ… この七十一人だからこそ、学び合えたことが沢山ありました。

今、こうして振り返ってみると、沢山の思い出がよみがえってきます。仲間と笑い合ったり、ケンカしたりした日々も今では、とってもいい思い出です。思えば、自分の思い通りにいかず、悔しい思いをした時には、必ずそばに先生や家族、そして仲間がいてくれました。いつも、私たちに指導してくださった先生方、本当にお世話になりました。先生方と過ごした授業や休み時間、放課後の時間は、とても楽しく、充実した時間でした。

在校生のみなさん、中学校生活はあっという間です。仲間と過ごす時間を楽しみながら、これからもいろいろなことに挑戦してください。沢山の思い出をありがとう。

一緒に悩み、たくさん相談し合ってきた家族。進路やテストの結果で悩ませることも多かった

と思います。強く反発してもいつも、最後までそばに居てくれました。そんな家族からの応援が、心の支えでした。本当に感謝しています。

会ってから三年。そばに居ることが当たり前だと思っていた友達と過ごす日々。それも今日で最後だと思うと、淋しい気持ちでいっぱいです。この三年間の思い出は、絶対に忘れることはありません。中学校生活をみんなと過ごすことができ、本当に良かったです。三年間、ありがとう。

今、ここに立っていても、卒業することを実感できていません。ここで入学式を行ったことも、つい最近のここのように思えます。まだ、みんなと他愛のないおしゃべりをしたり、笑い合ったりしてみたいです。しかし、私たちの目の前には、新しい道が広がっています。新しい環境で、自分の目標に向かって、前進していきます。

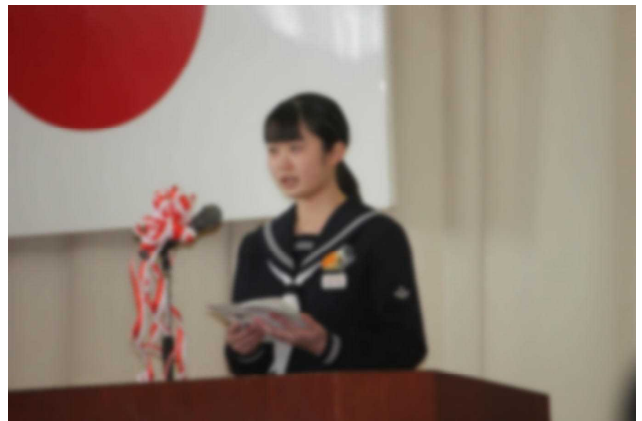
私たちは羽城中学校の生徒として過ごせたことを誇りに思います。最高の友達、後輩、環境に恵まれていました。三年間で得たことを、これから先の未来で精一杯活かしていきます。

今まで私たちを支えてくださった、全ての方々に改めて感謝を申し上げます。三年間、本当にありがとうございました。

卒業生一同、羽城中学校の更なる発展をお祈りして答辞といたします。

令和六年三月七日

卒業生代表 ○○ ○○



友だちの活躍

◆第60回男鹿市卓球大会

一般の部 1部 準優勝

2年 ○○ ○○ ○○ ○○
○○ ○○

ジュニアの部 3部 準優勝

2年 ○○ ○○ ○○ ○○

送辞 在校生 ○○ ○○

窓から差し込む暖かい日の光に、春を感じる季節となりました。本日、卒業を迎えられた三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心からお祝い申し上げます。

大いなる希望を胸に、この羽城中学校に入学してから早三年。たくさんの思い出が昨日のことのように思い出されることでしょうか。また、四月からの新しい生活に向けて、期待の高まりを感じていることと思います。

私が皆さんと過ごした思い出の中で印象に残っているのは、行事に向かうひたむきな皆さんの姿です。校内競技会では、全校が四つのチームに分かれて活動を行いました。特に、応援合戦では各チームの三年生が先頭に立ちチームを引っ張る姿を見て、尊敬と憧れの念を抱きました。

この三年間、学校生活を送る上で多くの制限がかかり、我慢することも多くあったと思います。そのモヤモヤした思いを晴らし、最高の思い出にしたいという願いを込めて掲げた羽城祭スローガン「霧が晴れた舞台 ～Best Memories～」のこのスローガンを体現するように準備に取り組み、本番の舞台上で輝く皆さんの姿は私達のお手本であり目標となる存在でした。また、合唱コンクールでの歌声は、体育館だけでなく心にも響く歌声でした。学級ごとに築き上げてきた強い絆が表れていたように思います。

私は生徒会執行部に所属していますが、所属した初めの頃、先輩方が優しく分かりやすく作業の仕方などを教えてくださいました。そんな先輩方と一緒に生徒会活動をするのがとても楽しかったです。最後に一緒に活動したのは羽城祭の運営でした。活動を的確に行う姿が今でも目に焼き付いています。

それぞれの部活動や委員会活動で見せてくださった一生懸命な姿は、決して忘れることは出来ません。仲間を想うことの大切さ、入念に準備をすることの大切さ、挨拶などの礼儀の大切さを先輩方は教えてくださいました。

高校入試が近づき、放課後も学校に残って勉強に取り組む姿も見かけました。ひたむきに努力を重ね続ける姿に、希望する道に進むことの厳しさと、夢や目標に向かって励む揺るがない意志を感じました。

羽城三精神を尊重し、悠久の仲間と過ごした三年間。どんな困難にも負けず努力を重ねて立ち向かってきた強い心身は、将来きっと様々な場面で存分に発揮されることと思います。

私達在校生は、皆さんがこの羽城中学校を巣立ち、それぞれの夢や目標に向かって歩んでいく未来を心から応援しております。

皆さんが築いてきた羽城中学校の伝統をしっかり受け継ぎ、生徒一丸となり、さらに羽城中学校をよりよい学校にしていくことを誓い、送辞といたします。

令和六年三月七日

在校生代表 ○○ ○



○

令和5年度 PTA表彰

本校では、毎年、PTA活動において役員を務めるなど、功績のあった3年生の保護者の方々を、PTA会長と校長名で表彰しています。今年度は7名の方に感謝状を、記念品とともに贈呈しました。お忙しい中、たいへんありがとうございました。(いくつかの役職を経験した皆様については、今年度の役職のみを記載しております)

伊藤 宏樹 様(3-1 ○○) 会長
田仲真由子 様(3-1 ○○) 副会長
鏡 智栄 様(3-2 ○○) 議長
佐々木友明 様(3-2 ○○) 会計監事
菅原 真美 様(3-2 ○○) 学年委員長(R4)
千種 正 様(3-2 ○○) 学年委員長(R3)
高橋 裕介 様(3-1 ○○) 副会長(R1)